

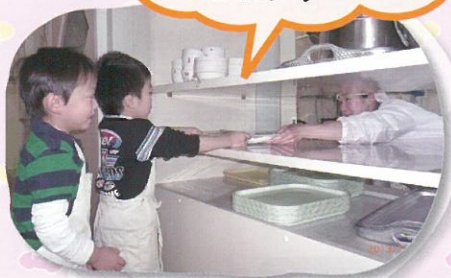
# いつもおいしい給食ありがとう



今できるからねえ～



ありがとうございます、いただきます



食べ方に合わせた離乳食



きょうのメニューは・・・



## みんなが楽しみにしているワクワクランチ



- おかず**
- とりのからあげ
  - エビフライ
  - チーズハンバーグ
  - カレーライス
  - サラダ(ブロッコリーやはるさめ)
- おやつ**
- パフェ
  - プリン
  - ホットケーキ
  - やきそば
  - カップケーキ



## 父母の会でお世話になりました

父母の会会長 小野塚謙太郎さん

新園舎落成大変おめでとうございます。現在、子どもたちがお世話になっている保護者と致しまして、こんなにおめでたい南部保育園の大きな節目を多くの皆さんと共に迎えることが出来まして、大変嬉しく、かつ光栄に存しております。昨年10月、保護者からの要望を快く引き受けただきお忙しい中、子どもたちのために上棟式を開催していただいた先生方、餅と一緒に撒くお菓子を準備していただいた役員の皆様、大変ありがとうございました。当日は、あいにくの雨模様ではございましたが、新しい園舎から降ってくるお餅やお菓子を楽しそうに、一生懸命拾い集める子どもたちの様子を見ることができました。きっと忘れられない保育園生活の思い出になった事と思います。



南部公園に囲まれ、多くの歴史を刻んできた旧園舎とお別れし、電車に見える新園舎で元気に走りまわる子どもたちと共に興道南部保育園の新しい歴史を末永く刻んで行ってほしいものです。

まいどの会長 藤倉 将洋さん



私の子ども4人が、14年間南部保育園にお世話になり、小学校へとそれぞれ巣立ちました。当時の園は、木造建てでガラス格子窓と杉板張りの腰板で、床も杉材の板敷き、なつかしい小さな保育園でした。あれから日が過ぎるにつれ修理や増築とどんどん良くなり現在になったと思われま。この度の新築にあたり廃園となる園舎に、47年間見守ってくれてありがとう、ご苦労様でしたと言わせていただきます。私の子どもたちがお世話になった故長谷川、三品寺園長先生、長沼主事先生と主任保育士の鈴木、小野寺、遠藤、山王堂先生方、そして優しく保育士の先生方、給食の先生方々に育てていただきありがとうございました。父母の会では、前会長の高橋信雄さんから引き継ぎ会長に任じられ父母の会の役員の方々ととの協力のもと、和やかな楽しい保育園を目指して始めました。父母の皆様と先生方とのコミュニケーションも良く、初めての「園外保育」で、高皇町和田のぶどう畑に行き、「ぶどう狩り」をして、園児たちがおいしいと食したのが記憶にあります。父母の会と先生方との対話が園児たちの伸び伸びとした楽しい事につながったのかと思います。

新しい園で、子どもたちが明るく楽しく元気いっぱい遊ばれることを祈念申し上げます。  
興道南部保育園万歳!

## 編集後記

いよいよもう少しで、新しい保育園への引っ越しとなります。思い出深いこの保育園ともお別れとなり、寂しい反面、新しい保育園に子どもたち職員も今からワクワクドキドキしているところです。この南部保育園、南部公園、そして地域の方々に、みんなで「お世話になりました。ありがとうございました」の言葉をおくりま。 (富田記)



# あのね～

第24号

2014年2月

興道南部保育園  
米沢市本町二丁目4-47  
TEL 0238-21-3756

## ほくたちわたしたちのなんぶほいくえん



新園舎落成  
2014年3月1日(土)



## 園長あいさつ

### 子どもの健やかなる成長を願って ～園舎移転にあたって～



興道南部保育園  
園長  
菊池 道喜

平成26年穏やかで明るい新年を迎えることができました。過日は、築48年経った現園舎への感謝も含めて「懐かしむ会」を催させて頂き、南部保育園を卒業された方々や、勤められた元園長先生・旧職員の方々においでいただき、往時の光景に花を咲かせてくださいました。今までお世話になりまして、本当にありがとうございました。

さて、いよいよこの2月に南米沢駅の北向かいに園舎が移転することになりました。創立90年近い歴史の中で3度目の大きな引っ越しです。ここ数年、0・1・2歳児の保育需要の割合が急速に高まってきている中、0歳からの保育の役割とその質の維持向上に力を注いでいる状況です。また、新しく病児保育も始めます。

保育は、働く保護者のためもさることながら、保育所を軸にして地域で子どもたちを支えていく時代に入っています。これから、目まぐるしく複雑多岐になっていく社会の中で、ますます人間の心と心の繋がりが大切です。そのために、「ありがとう」という感謝の気持ちを育む保育を土台にして、子どもたちの健やかなる成長過程を見守れるシステム作りをしていくつもりです。

子どもたちの姿が 明るく楽しく元気よく 笑顔あふれる園に・・・  
これからも、ご支援下さいますようお願い申し上げます。



# 思い出いっぱい南部保育園



さくらくみ  
0歳児



手づかみたべ  
おいしいね



よいしょ  
よいしょ!!

おふねはぎっちらこ  
保育者の足は満員です

うめくみ  
0・1歳児



よくかんでね  
モクモク



ぐっすりねんね  
大きくな〜れ



ブロックで  
なにをつくる?



むかし  
むかしの  
南部保育園



昭和41年に、南部保育園の現園舎は建てられました。これまでの間、何人もの子どもたちが過ごしてきたことでしょう。長いお子さんでは0歳から6歳までの7年間、あそんだり、食事や昼寝をして毎日過ごしてきました。笑ったり泣いたり、時には友だちとけんかをすることもありました。事務室や幼児組でも「あ、赤ちゃん泣いている」とそれぞれのクラスの様子も感じ合える温かな雰囲気でした。子どもたちが楽しく過ごし、たくさんの思い出がつまった南部保育園です。(釜田記)

ももくみ  
2歳児



みんなそろって  
じゅっぱつしんごう!!!



ココアだんご  
おいしいよ



リズム運動...かめのうごき

たんぽぽくみ  
すみれくみ  
ゆりくみ  
3・4・5歳児



みんなであそぼ  
あそぼ



牛乳パックで  
何つくろうかな...



頭をくっつけて  
ブロックあそび



みんな  
で  
ドランプ



ひとり  
で  
盛り付け  
できるよ

# 園舎とのお別れ会

1月12日(日)に、思い出がたくさんつまった園舎とのお別れ会をしました。ついこの間卒園したお友だち、ずっと前に卒園したお友だち、旧職員など、120名もの方々がおいでくださいました。久しぶりに懐かしい仲間と顔を合わせ、写真を見たりしながら、いつまでも話が尽きないようでした。おいでいただいた方々に、思い出メッセージを書き添えていただきました。



旧職員  
後藤 美恵子さん

長男、長女、そして私と3人共、大変お世話になりました。今になっても、夏まつり、運動会、季節ごとのあそび等、なつかしく思い出し、話の中に出てきます。とても温かく見守ってくれた南部保育園、ありがとうございました。



お母さんが卒園児です

S52年3月卒園児です。市報で知りました。間取り、とてもなつかしかったです。楽しかったから、覚えていることが多いです。

雪に色のついた液体をかけて食べようとしたことを思い出しました。次に建つところに行ってみたくです。



大きくなった卒園児の皆さん

娘が1歳からお世話になり、たくさんの思い出がつまったこの園舎がなくなってしまうのは、本当にさびしいです。そして、何より私も〇十年前の卒園児。楽しかったことはもちろん、お母さんが早く迎えに来てくれないかと、いつものぞいていた窓とのお別れです。本当にお世話になり、ありがとうございました。

## 星空コンサート「星に願いをこめて」

旧園長 山王堂 恵偉子さん

子育て中のお母さんが「音楽なんてずっと聴くことができないんだなあ。だって子連れで文化会館に入れないもの」とつぶやいた。そうなんだ。子連れでコンサートに行けないのなら保育園で行おうと考え、準備にとりかかった。米沢吹奏楽愛好会にお願いをし、8月4日1回目の「星空コンサート」を行った。ブルーシートの上でステキな音楽を聴いた。職員が「YMCA」を踊り、楠裕行さんはユーホニウム、菊池道喜さんはギターを、中川洋子さんはエレキギターを弾いた。「星に願いをこめて」、最後に「戦争を知らない子どもたち」を合唱。幸せなひとときを保護者と子ども、職員で味わった。「星空コンサート」は、現在も続いているようだ。子育て中でも、親には楽しんで頂きたいと思っている。



スポ小帰りに寄ってくれました



久しぶりに会った先生とハイチーズ

みんなと昔あそんだことを、室内に入ると思い出してすごく懐かしくて、またみんなで前のようにあそびたいと思いました。思い出の場所がなくなって残念です。



なつかしいアルバムや文集を開いて

園舎が取り壊されると思うと、大変残念です。卒園してからも、そこにあるだけで、懐かしさを感じていました。建物はなくなりますが、いつまでも楽しい思い出は無くなりません。私たちを大きく育ててくれた園舎さんありがとうございます。これからは、心の中で会わせてくださいね。  
S46年卒園児



夏にも卒園児が訪ねてくれました

今日は、久しぶりに園庭の雪道を手をつないで子どもと一緒に歩き、なつかしく思い出されました。にぎやかで、あたたかい保育園、とても楽しい思い出です。ありがとうございました。新しい園舎でもますますご発展されますようお祈りします。

南部保育園を卒園した下の子が成人となり、社会人として頑張っています。今回のことを話したら懐かしがり、しばらく思い出話に花が咲きました。園舎がなくなる前に来たいと言っていました。

# ぼくたち・わたしたち こんなに大きくなったよ!

分園「光」が開所して3年目を迎えました。当初3歳児で入所したお友だちが、今年の3月に卒園することになり喜びと淋しさを感じているところです。今回は、年齢や発達にあったあそびや活動を通して、一人ひとりの子どもたちが楽しんでいる姿や“自分でやりたい”という意欲的な様子などを是非見て頂きたいと思います。

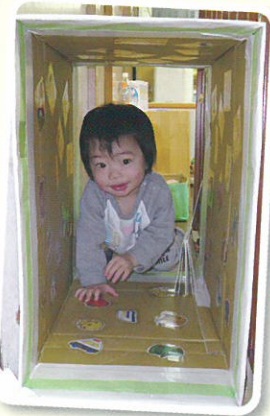
## ぼくの大好きな場所 (0歳児)

にこにこ組(0歳児)Aくんのお気に入りのひとつに段ボール箱で作ったトンネルがあります。

一人歩きができるようになってきた頃、Aくんはよくテーブルの下や棚の下をのぞきこみ、もぐりこもうとするようになりました。そこで、くぐったり隠れたりできるようなトンネルを作りました。

Aくんはハイハイをしてトンネルを通り抜けると保育者と顔を見合わせ『ばあ』というような声を出して一緒に笑ったり、トンネルの中に座って内側に貼ってあるイラストを一つひとつ見たり指さしたりしながらのおしゃべりもきかれます。その狭いけれどもやわらかい光の射し込む空間はAくんにとって心地よく、一人でじっくり落ち着いてあそべる場所のようです。

Aくんがどんなことに興味を示しているのか、どのような成長過程(心と体)にあるのかななどを保育者が丁寧に見て、理解しながら環境を作ることによって、Aくんのあそびが広がっていったように思われます。今後も子どもの姿や思いにそったあそびの環境や空間作りの工夫をしていきたいと思ひます。(齋藤 記)



## たのしいよ!! リズム運動 (1, 2歳児)

分園では、開所当初から乳児組も毎日リズム運動に参加しています。

大きい子の動きを見て真似をすることからはじまり、ピアノの音に合わせて一生懸命に身体を動かすかわいらしい姿が見られました。小さい頃から毎日しているリズム運動のおかげで身体のバランスや柔軟性が育っているように思われます。

最近では一つひとつの動きがしっかりとできてきて、自分が得意な動きやポーズをするときには、自信にあふれた表情や動きをたくさん見せてくれる1, 2歳児クラスの子もたちです。(坂野 記)



## さつまいもの収穫から “表現するってたのしい”まで (幼児組)

今年度は、経験を活かした遊びが広がるような環境づくりや働きかけを大切にしてきました。その中の一つに、友だちと力を合わせながらつるを引っ張り、土を掘り返してとれたさつまいもの収穫があります。後日、そのさつまいもを使い、園庭で“やきいもパーティー”を行いました。いろいろな作業を体験しながらアツアツの“やきいも”をほおぼる子どもたち。自分たちで手のかけた焼き芋のおいしさはひとしおのようでした。

このような経験を活かし、2歳児は絵の具でさつまいもを描いたり、発表会での芋ほりの一場面となったりしました。また、幼児組はみんなで“いもザウルス”を作ったり、つるを円形にして正月のしめ飾りを作ったりする制作へと発展していきました。

これからもさまざまな経験を通して、感動や喜びをあそびや制作などで表現する楽しさに繋げていけるように、保育者も援助をしていきたいと思ひます。(鶴見 記)



## ママトーク

### 感謝の気持ち

吉野 久子さん  
(年長児 早稀ちゃんのお母さん)



卒園まで後わずかになってしまいました。入園して2年——。初めは不安で泣いていましたが、徐々に慣れて来て、今では遊べる事が楽しくなってきました。毎月、色々な行事を考えて頂き、クリスマス会には、上杉節をきちんと踊って見せてくれ、自分に自信を持って皆の前で行動できることを見せてくれ、2年前の泣いていた頃から見ると、日々、大人に近づいている事が分かります。もうすぐ、小学校入学で不安はありますが、素直に真っ直ぐ育てて欲しい——と思うばかりです。

### 頼もしくなった我が子

齋藤 由美さん  
(年長児 凌駕くんのお母さん)



米沢に来て早三年。今思うと、あ——という間でした。米沢に来た当初は、息子も私も環境に慣れるまで試行錯誤でした。息子は米沢の環境になかなか慣れる事が出来ず不安でいっぱいの際に分園「光」の先生方に沢山助けいただきました。息子のことをよく見て下さり、対応して下さいました事で引込み思案の息子が自分を出せるようになり、今では、何でも話して好きな事が出来るようになりました。最後のクリスマス発表会で頼もしく成長した息子をみて胸がいっぱいになりました。これからは沢山の経験をして、自分の糧にして欲しいと思っています。

### 『つよくてやさしい』 我が息子

佐藤 磨由さん  
(年長児 真生くんのお母さん)



園での生活も残りわずかになりました。保育園では、いろいろな体験をさせて頂き、感謝しています。中でもピカピカ発表会は本当に感激しました。飛び箱を飛ぶ自信に満ちあふれた姿、上杉節を踊る堂々とした姿を見ると、感動とうれしさに胸がいっぱいになりました。そして、もう一つ、発表会が終わった時に小さな子達が「まおくん! まおくん!」と集まってくる姿を見て、この子はやさしい子に育ってるんだなあ——とうれしくなり、子供の成長を感じた瞬間でした。このように、園での経験は息子にとって大切なものになっています。そして、これからの人生のパワーの源になると思ひます。保育園の先生方には愛情いっぱいにして頂き、本当に感謝しています。

### ありがとう( ^\_^ ) ごめんなさい

渡邊 利奈さん  
(年長児 夢奈ちゃんのお母さん)



米沢に来て丸2年。分園「光」保育園に入所し、我が子の成長が目に見えて実感できる日々でした。何より、先生方の温かい愛情が本当に伝わり、感謝の気持ちでいっぱいです。人数は少ないがその分お友達や先生方との関わりが深いものになり、なかなか言えなかった「ありがとう」「ごめんね」が素直に言えるようになった夢奈。春には1年生。少人数からいきなりのマンモス校入学。不安に思う事の方が今は大きいですが、夢奈の成長と素直な気持ちを大切に、見守っていききたいと思ひます。

## 「ハッピーバースデー♪」月に一度のお楽しみケーキ 給食室

今年度、月に1度の誕生会がある日には、自分の生まれた月の特別な日を子どもたちに喜んでもらいたいという思いから、おやつに“手作りパースディケーキ”を用意しています。子どもたちもケーキ作りの仕上げを手伝ったり、子どもたちや職員で歌をうたったりしてお祝いをしています。子どもたちがホールケーキを目の前にしたときの喜ぶ顔を楽しみに、季節のものを取り入れながらケーキ作りに力を入れています。(蔵田 記)

